

REPORT SHEET OF COIL EDUCATION

担当教員名	藤掛千絵	所属 (学部 学科)	国際センター	
実施クォーター	Q 3			
授業名	南山	国際産官学連携 PBL 科目 B		
	相手大学・機関	日本語語学クラス		
カテゴリ	PBL			
パートナー教員名	西尾智恵	所属	ノースジョージア大学	
参加学生数	南山	3	相手大学・機 関	6
使用言語	英語 日本語			
使用ツール	Zoom LINE			
交流内容	<p>全員での合同 ZOOM セッションをプロジェクトの最初と最後（合計 2 回）に行った。</p> <p>南山の学生は障害や大学施設のバリアフリー化やユニバーサルデザインについてを中心に、ノースジョージア大学の学生に質問をし意見を聞いたり情報収集をした。ノースジョージア大学の学生は、障害を含め、もっと広い多様性についてのトピックについて事前に調べ学習をした上で、南山の学生に意見を聞いて、ディスカッションをした。グループディスカッションは 2 回実施した。メッセージ交換や大学内施設の写真交換は適宜行った。</p>			
評価方法	ZOOM ミーティングへの参加。プレゼンテーション。レポート。			
コメント	<p>多様性という大きなテーマのもとに、さまざまな議論ができたようである。南山の学生にとっては、障害について米国学生がどのように捉えているのか、また米国の大学の施設は日本とどのように違うのかを知ることができ、比較学修・研究をすることができた。</p> <p>ノースジョージア大学の学生も、例えば、日本で引きこもりが増えていくことに注目し、それについて南山の学生に意見を聞いた。引きこもりと障害は関係性があるトピックのため、多角的に課題について考えることができたのではないかと感じる。</p> <p>欲を言えば、障害にフォーカスして議論をさせたいが、ある程度、協働学習のテーマとしてまとまりはあったのではないかと思う。</p>			